

「医療機関」倒産動向

医療機関の倒産、過去最多ペースで推移

「患者が戻らない……」苦戦する診療所、歯科医院が続出

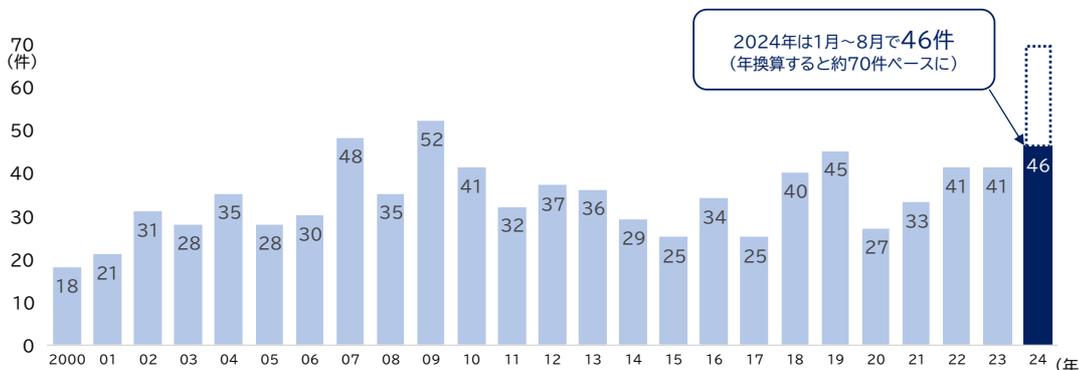
医療機関（病院・診療所・歯科医院）の経営事業者の倒産が過去最多のペースで推移している。2024年は8月までに、病院4件、診療所20件、歯科医院22件の計46件発生し、すでに前年の年間件数（41件）を上回っている。今後も発生ペースがダウンしなければ、2024年の年間件数は70件前後となる可能性があり、2000年以降で最も多かった2009年（52件）を大きく上回り過去最多となることはほぼ確実の状況だ。業態別にみると、診療所と歯科医院の件数増加が顕著で、それぞれ過去最多（診療所＝2009年の27件、歯科医院＝2018年の23件）を更新する可能性が高い。



一方、業態別の負債は病院が37億3700万円、診療所が30億8900万円、歯科医院が61億7800万円で総額は130億400万円となった。8月末時点で負債額が最大となっているのは、高橋デンタルオフィス（歯科医院、千葉県、7月破産）の19億円。以下、医療法人社団アブラハムクラブ（負債13億1200万円、病院、宮崎県、8月民事再生法）、医療法人篤信会（同11億7000万円、病院、長崎県、6月破産）、医療法人社団綺整会（同11億6000万円、歯科医院、東京都、3月破産）が続いている。医療法人社団綺整会はグループ法人4社とともに破産となり、歯科医院の件数を押し上げた。

予防意識や医療機関の選別意識の高まりなどでコロナ禍に減少した患者がアフターコロナで戻らずに苦戦したり、経営者の高齢化や後継者難で事業継続が困難となったりする診療所と歯科医院は今後さらに増加していくとみられる。

医療機関の倒産件数推移（2000年～2024年8月）



株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 阿部 成伸 03-5919-9341 (直通)

情報統括部：tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。